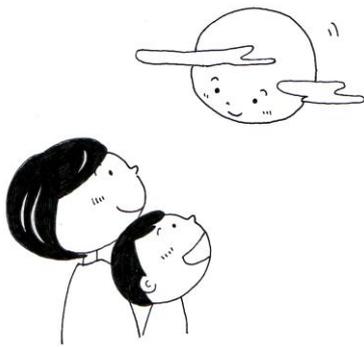


園だより

2025年9月1日
社会福祉法人
緑の丘福祉会
ののかぜ保育園



秋の自然をたっぷり楽しもう！！

ののかぜ広場に向けて

期待を膨らませていこう！

9月 保育・行事計画								
1	月	伝言ダイヤル 初期消火訓練	11	木	1日経営部会	21	日	
2	火		12	金		22	月	
3	水	職員会	13	土		23	火	振替休日
4	木	保育部会	14	日		24	水	職員会
5	金	プール閉め	15	月	敬老の日	25	木	避難訓練 誕生会 保健部会
6	土		16	火	給食部会	26	金	ののかぜ広場 リハーサル
7	日	さくらお泊り会(親企画)	17	水	ののかぜ広場 リハーサル	27	土	
8	月	さくらお泊り会(親企画)	18	木	運営委員会	28	日	
9	火		19	金		29	月	あい共連幹事会
10	水	千種園長会	20	土		30	火	法人事務局

たっぷり楽しんだ水・プール遊び

今年度は、各地で 39℃と異常なほどの高気温となった夏。保育園では連日子どもたちは水遊び・プール三昧でした。

つくし組はビニールプールの中にどっかり座ったり、保育士と水遊びを楽しみました。れんげ・たんぽぽ組の子どもたちはプールでワニ泳ぎを楽しんだり、色水あそびを楽しんだりとあそびを広げていました。すみれ組は自由になった体で思い切りプールあそび。保育士と水を掛け合ったりと大胆に遊べるようになりました。

幼児クラスの子どもたちは、今年度広くなったプールの中で友だちと思い思いにごっこ遊びや、水中鬼ごっこ、潜りっこなどをうんと楽しんでいます。本当に子どもたちにとって、友だちの存在は大きいなと見ていて感じます。ここ数年9月になっても暑さがなかなか退かなくなってきたので、プール閉めを遅くして9月第1週までプールは残す予定です。プール閉めではカッパさんにこの夏楽しんだ泳ぎを披露できたらと思っています。



名古屋市懇談が行われました

今年度は、開催場所が名古屋市教育センターで行われました。

名古屋市懇談は毎年この時期に行われており、今は当たり前になっている、0歳児産休明け保育・延長保育・障がい児保育も、これまでの名古屋市との交渉や保育運動によって願いが制度化され、補助金制度が確立されてきました。保育行政の後退がないよう「市懇談」がもたれています。

今年はこののかぜ保育園から長屋光之輔、利輝人くんのお父さんが「病児、病後児保育事業」について発言されました。「各区の人口に対して充実している所と充実していないところのばらつきがある。少ない区に対しては重点的に拡充を」と訴えて頂き名古屋市からは「現在、名古屋市では22施設の病児・病後児施設があります。実施箇所数については、「名古屋市子ども・子育て支援事業計画」を踏まえ、配置バランスを考慮しながら、実施箇所数の拡充を検討していきたい」との回答がありました。

参加者はzoomも入れて、父母 3名職員 4名が参加しました。今後も働きながら子育てしやすい社会になるよう行政への働きかけを粘り強く行っていきましょう。

秋の署名活動をみんなで成功させよう！

2024年「子どもたちにもう1人保育士を！」の願いが大きな世論となり、3、4、5歳児の保育士配置基準が改善されました。2025年度は、1歳児の保育士配置基準の改善(6:1→5:1)が進められました。しかし、3、4、5歳児は当面の間は従前の基準もよしとする期限の定めのない経過措置がも設けられたままであり、1歳児は3、4、5歳児の基準改正とは違い、加算での改善です。さらに、加算を取得するために厳しい条件も設けられています。このように前進はあるものの、いまだ不十分です。いま、子どもの権利保障と乳幼児期からの安心

できる子育てのためには、日常的に子どもの育ちと子育て家庭を支える社会資源としての保育にゆとりを生み出す施策が必要です。保育現場の職員の増員をはじめ、保育に関わる基準や施策の抜本的な改善を求め今年度も署名活動を、みんなの力で成功させていきましょう。

日本の将来の保育制度をどうかたちで残すのが私たちに託されています。

